



報道機関 各位

議題 1

記者発表資料
 平成29年8月8日(火)
 問い合わせ先
 環境未来都市推進課
 担当：大塚、有山
 電話：829-1329
 内線：3133

～さいたま市の取組を世界に発信!～
 「Global City Teams Challenge (GCTC) EXPO 2017」に参加し、
 本市におけるスマートシティの取組をトップセールスします!!

さいたま市は、ワシントンD.C.で開催される、アメリカ国立標準技術研究所(NIST)が主導するIoT技術を活用したスマートシティの構築を目指す「GCTC EXPO 2017」に参加し、スマートシティの取組をトップセールスします。

- 1 期 間 平成29年8月28日(月)～29日(火) 2日間 ※ 市長は28日(月)に参加
- 2 目 的 NIST が主導する、IoT 技術を活用したスマートシティを構築するため、解決したい課題を抱える自治体、研究開発をする大学、技術の実展開を目指す企業がEXPOに参加し、意見交換・情報共有を行うことで課題解決に取り組むことが目的。
- 3 概 要 同EXPOにおいて、総務省から受託して進めている「スマートコミュニティサービス向け情報通信プラットフォームの研究開発」や、「次世代自動車・スマートエネルギー特区」の重点プロジェクト「スマートホーム・コミュニティ」、美園地区におけるIoT を活用した先導的事業などについて、市長及び慶應義塾大学西教授から、本市におけるスマートシティの取組を世界に発信する。
- 4 参加者 さいたま市長 清水勇人
 (美園タウンマネジメント協会 副会長)
 慶應義塾大学工学部教授 西 宏章 他
 (美園タウンマネジメント協会 会長)
- 5 日 程 8/26(土) 出国
 ワシントン着
 アメリカ国立樹木園 訪問
 8/27(日) 全米退職者協会(AARP) 視察(予定)
 情報通信研究機構(NICT)との意見交換
 8/28(月) EXPO での講演・パネルディスカッション
 日本大使館での意見交換
 FIWARE レセプション 参加
 8/29(火) ワシントン発
 8/30(水) 帰国



**GLOBAL CITY
 TEAMS
 CHALLENGE
 EXPO 2017**

AUGUST 26-29
 WASHINGTON,
 DC

《Global City Teams Challenge (GCTC) の概要》

1 概要

Global City Teams Challenge (GCTC)とは、アメリカ国立標準技術研究所(NIST)が主導する、IoT 技術を活用したスマートシティを構築することを目指したプログラム。

「Smart America Challenge」を発展させる取組として、2014年9月から2015年6月までが第1ラウンド、2015年9月に、オバマ前大統領が発表した「スマートシティ・イニシアティブ」の一環として、第2ラウンド(2年間の取組)を開始。

具体的な内容は、解決したい課題を抱える自治体、研究開発をする大学、技術の実展開を目指す企業がチームをつくり、スマートシティによる課題解決に取り組む。

その中で、複製が可能で(replicable)、拡張が容易で(scalable)、持続可能で(sustainable)、相互接続可能な(interoperable) IoT のソリューションモデルを見出し、デモンストレーションすることが目的。

本取組には、アメリカの自治体のほか、アムステルダム、ジェノバ、釜山といった海外の自治体も参加。

また、アメリカ国立科学財団(NSF)、運輸省、エネルギー省、保健省といった他の連邦政府機関や、情報通信系企業(IBM、インテル、クルコムなど)も協力。

2 GCTC EXPO

GCTC では、毎年とりまとめのEXPOを開催。第1ラウンドの2015年はワシントンD.C.で開催。欧州の自治体を含む60超のチームが参加。

第2ラウンド初年度の2016年は、テキサス州オースティンで開催。13か国から90超のチームが参加。

第2ラウンド最終年度の本年は、8月28-29日にワシントンD.C.で開催。100超のチーム、300超の大学・企業等の参加と2,000人規模の来場者を見込む。

3 我が国の参画と本市との関わり

本取組について、2015年夏よりNIST から情報通信研究機構(NICT)に対して、参加要請があり、また、アメリカ国務省から総務省に対しても参加要請があったことから、NICT・総務省もGCTCに参加。

2016年総務省「戦略的情報通信研究開発推進事業(国際標準型)」研究開発事業として、慶應義塾大学理工学部システム工学科 西宏章教授を研究代表者とした「スマートコミュニティサービス向け情報通信プラットフォームの研究開発」が採択され、本市美園地区において、美園タウンマネジメント協会と連携して研究開発を実施中(平成28年度～平成30年度までの3か年事業)。

総務省の研究開発を進めている中、総務省から市長に対し、本市のスマートシティ構築に向けた取組を発信するべく、EXPO への参加要請があった。